

地雷除去及び地域復興式典の開催 ～我が国日本NGO無償資金協力を通じた官・民・NGO連携～

6月3日（月）、バットアンバン州ラタナック・モンドル地区において、同地区の地雷除去及び地域復興の式典が開催されました。

事業実施主体である日本地雷処理を支援する会（JMAS）は、我が国の日本NGO無償資金協力を活用し、カンボジア地雷除去センター（CMAC）と協力して地雷除去活動を展開しながらCMACへの技術移転をするとともに、地雷除去が終了した地域を対象にコマツ（株）と協力しながら農道や学校などを建設する地域復興支援を実施してきております。

（コマツは2008年からJMASに対人地雷除去機を無償で貸与するなど、JMASと協力・連携して地雷除去から地域振興に至るまでの活動を実施しています）

式典には、プライ・チャン・バットアンバン州知事、ヘン・ラタナCMAC長官、野路國夫コマツ代表取締役、野中光男JMAS理事長の他、約1500名の地域住民が参加し、日本大使館からは黒宮参事官が出席して、お祝いのスピーチを行いました。



黒宮参事官のスピーチ

今回、官・民・NGOが連携し、オールジャパンとしてカンボジアの重要課題である地雷除去と地域復興に取り組んできた結果として、バットアンバン州ラタナック・モンドル地区を対象に、458ヘクタールの土地が地雷から開放されるとともに、20kmの農道、4つの小学校などが建設されました。地雷除去から除去された後の土地の活用に至るまでの総合的な活動を実施することで、地域住民の経済社会活動の促進に大きく貢献したと考えられます。



対人地雷除去機による除去



除去地を対象に建設されたインフラ

